

第1課 士師デボラ

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 橋をかける 準備:シール

◎ 1～3つの椅子の裏側に、シールを貼っておきます。

- ・ 「椅子の裏にシールが貼ってあった人は、探検のリーダーになってください」と言います。
- ・ 他の子どもたちを3つのグループに分けます。
- ・ 「この部屋が広い川だと想像して、それぞれのグループで、メンバーがぬれずに向こう岸に着くための方法を考えます。」
- ・ リーダーは、みんなの意見を聞いて、まとめます。
- ・ 「川を渡るために使える道具は、部屋の幅と同じ長さのロープだけです。」
- ・ 話し合いの時間は5分です。
- ・ それぞれのグループに、自分たちのアイデアを発表させます。
- ・

◎ 話し合いをしましょう

- ・ 「話し合いをするのは簡単でしたか。」(簡単、難しい、とても無理)
- ・ 「みんなはリーダーの言うことに全部従えましたか。」
- ・ 「リーダーは、どんな仕事をするでしょう。」(人の意見を聞く、誘導する、指示する)
- ・ 「神さまは何人かの人たちをリーダーに選ぶことがあります。」
- ・ 「リーダーの仕事は、周りの人を助けることです。私たちはその人を支え敬うことで、リーダー、つまり指導者を助けます。」

メッセージを一緒に言いましょう

私は、神さまがお選びになった

指導者を敬います。

B 指導者がいないと 準備: コマが足りず、説明書もないボードゲーム

- ・ あらかじめ子どもの知っているゲームの用意をしておきます。
- ・ コマやカードを少し取り除くか、他のゲームのコマを混ぜておきましょう。
- ・ 「今日は新しいゲームを持ってきました。でもどうやって遊んだらいいのかわからないので、一緒に考えてください。」
- ・ 子どもたちにゲームをやらせ、出来ないところで考えさせます。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「このゲームのどこが悪いのでしょうか。」(ルールがない。遊び方がわからない。足りないコマがある)
- ・ 「なぜこのゲームができないのですか。何が足りないのでしょうか。」(コマが足りないから)
- ・ 「どうしたらいいのかわからないとき、どんな気持ちになりますか。」(混乱する、イライラする)
- ・ 「今日のお話では、神さまがイスラエルの人たちに指導者を送って、どうしたらいいのかを教えてくださいます。」
- ・ 「神さまは今も私たちに指導者を送り、導いてくださいます。」

メッセージを一緒に言いましょ

私は、神さまがお選びになった

指導者を敬います。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、うれしかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だちを温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。
- ・ お話の中の「交わり」を強調してください。

◎ 献金

- ・ 「私たちが献金を捧げると、神さまは指導者たちを使って、それを有効に使えるようにしてくださいます。」
- ・ 「今期のお金は(伝道地の名前)に送られます。」

イエスキリスト①

- ◎ お祈り 準備: ①大きな紙か黒板
②マーカーかチョーク

- ・ 「指導的立場にある人たちのリストをつくりましょう。」(教会の人から政治家まで、あらゆるレベルの指導者たちをあげましょう。)
- ・ 「この指導者一人ひとりのためにお祈りしましょう。」
- ・ 子どもたち一人ひとりに、指導者のために短いお祈りを捧げてもらいます。
- ・ 「このリストは毎月ずっと使いましょう。」

第2課 勇かなギデオン

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)をたずねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。「お話の前に」を始めます。AとBどちらかを選んでください。

A 綱引き 準備: ロープ

- ・ 子どもたちを2つのチームに分けます。体が大きく力の強い子どもたちのチームを1つつくり、小さい子どもたちをもう1チームにします。
- ・ 「どちらが勝つと思いますか」と聞き、子どもたちの答えを聞きます。
- ・ 「位置に着いて、用意……、ああ、忘れてました。こちらのチーム(小さい子どもたちのチームを指差します)は人数が多すぎますね。〇〇(先頭の子ども)ちゃん一人にやってもらいましょう。〇〇ちゃん以外の人は座ってください。」
- ・ 綱引きをします。

◎ 話し合いをしましょう

- ・ 「〇〇ちゃんはどうして綱引きに負けたのでしょうか。」(小さいのに一人だったから)
- ・ 「勝つためには何が必要でしたか。」(たくさん子ども、大人が入る)
- ・ 「今日の聖書のお話には、とても無理だと思われるような少ない人数の人たちが出てきます。けれども、その人たちは神さまを信頼しました。人々が信頼するとき、とても無理だと思うことを神さまは成し遂げてくださいます。」

メッセージを一緒に言いましょう

私が神さまを信頼するとき、
神さまは私をもちいてくださいます。

B いろいろな明かり 準備:いろいろな種類のランプ、懐中電灯、ろうそく

- ・ できるだけ部屋を暗くします。
- ・ 子どもたちにいろいろな種類のライト(自転車のライト、バースデーキャンドル、テーブルランプなど)をつけさせます。
- ・ 全員がつけたら、「これは何に使用しますか。」と質問します。
- ・ 部屋がまだ暗いうちに、アシスタントに何かを落としてもらい、部屋の電気を急につけます。

◎ 話し合いましょう

- ・ 「どれが一番明るく光りましたか。夜に外に行くとき、どんなライトが一番ほしいですか。」(一番明るいもの、光の強いもの)
- ・ 「突然物音がして電気がついたとき、みんなはどうなりましたか。」(びっくりした。飛び上がった)
- ・ 「ぐっすり眠っているときにいきなり明るい電気をつけられたことはありますか。どんな気持ちになりましたか。」(混乱した)
- ・ 「今日のお話には、明かりと音を使って敵を混乱させ、倒した人が出てきます。その人の軍隊は少人数でしたが、彼は神さまを信頼していたのです。」

メッセージを一緒に言いましょう

私が神さまを信頼するとき、
神さまは私をもちいてくださいます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。
- ・ 「このお話は、交わりの中で起こる問題について、どのようにするのが良いと教えていますか。」と聞いてください。

イエスさまといっしょ①

◎ 献金

「献金を捧げることで、私たちは、様々な地域でイエスさまのことを伝える人たちを助けています。」

◎ お祈り 準備: ①大きな紙に書かれた指導者たちのリスト
 ②指導者たちの絵や写真

- ・ 全員が見えるところに、指導者たちの絵や写真を置きます。
- ・ 「この指導者たちがかかえている問題は何ですか。この人たちが神さまを信頼したら、何が変わるでしょうか。」
- ・ 話し合いの時間を取ります。神さまは不可能に思える状況にも確かな解決法を与えられることを強調してください。
- ・ 子どもたち一人ひとりに、その指導者のためにお祈りしてもらいます。

第3課 強いのに弱い

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)をたずねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。「お話の前に」を始めます。AとBどちらかを選んでください。

A 身体をきたえる 準備: ロープ

- ・ 「今日は少し運動をしましょう。まずは、その場で軽くジャンプしてください。」
- ・ 他にも、その場駆け足やジャンピングジャック(手足を開閉しながらのジャンプ)などの簡単な運動をします。
- ・ 子どもたちが疲れたころ、輪になって座らせます。

◎ 話し合いをしましょう

- ・ 「運動するのは好きですか。運動すると私たちの身体はどうなりますか。(運動の名前)をすると、どの筋肉が鍛えられますか。今日の聖書のお話には、世界一の力持ちが出てきます。神さまはこの人に特別な仕事をしてほしいと思っていたので、彼に特別な力を与えました。この力持ちの人はいつも神さまのご計画に従ったわけではないのですが、神さまはこの人を愛して、お用いになりました。」

メッセージを一緒に言いましょ

私が間違いを犯したときでさえ、
神さまは私を愛し、用いてくださいます。

B 悔い改めの歩み

- ・ 子どもたちを教室の端か廊下で2、3列に並ばせます。
- ・ 「先生が『歩いて』と言ったら、先生の方に向かって歩いてきてください。」
- ・ 「『悔やんで』と言ったら、向こうを向いてあちらの方に歩いて行ってください。」
- ・ この命令を何度か繰り返します。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「『悔やんで』と言ったらみんなはどうしましたか。悔やむとはどういう意味でしょう。」話し合いの時間をもちます。
- ・ 「悔やむというのは、何か間違ったことをしてしまったときにそのことを申し訳なく思うということです。申し訳ないと思っているので、向こうを向く、つまり、進む方向を変えるのです。」
- ・ 「今日の聖書のお話には、してはいけないことをたくさんしてしまった人が出てきます。けれども彼はそれを悔やんで、神さまに許して下さるようお願いしました。」

メッセージを一緒に言いましょ

私が間違いを犯したときでさえ、

神さまは私を愛し、用いてくださいます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。
- ・ 「お話に出てくる人たちは、神さまの家族の一員です。私たちは皆、神さまの大きな家族の一員なのです。」

◎ 献金

- ・ 「今日の献金は、(伝道地)の人たちに、神さまが自分たちを愛してくださっていること、そして自分たちも神さまの大きな家族の一員だということを知らせるために使われます。」

◎ お祈り

- ・ 「自分が間違いをしてしまったときのことを考えてください。どんな気持ちになりましたか。」
- ・ 子どもたちがそれについて自分の気持ちを話しあう時間を取ります。
- ・ それから「ポップコーン式お祈り」をします。子どもたちに、神さまの許しを感謝し賛美するよう促しましょう。
- ・ 子どもたちは、ポップコーンがはじけるときのように、いつでも好きなときにお祈りの言葉を言うことができます。最後に、いつも共にいてくださることを感謝するお祈りをしましょう。

第4課 しもべは聞いております

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)をたずねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。

「お話の前に」を始めます。AとBどちらかを選んでください。

A 私はだれでしょう 準備: テープレコーダーかスクリーン

- ・ あらかじめ、子どもたちの知っている人たちに「みなさんは毎日イエスキマの声を聞いていますか。」と言ってもらい、それを録音しておきます。
- ・ 子どもたちの知らない人にも1人参加してもらいましょう。テープを流して、子どもたちにだれが話しているのかを当ててもらいます。
- ・ テープレコーダーがなければ、4、5人のゲストに来てもらって、スクリーンの後ろで同じセリフを言ってもらいます。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「何人の声がありましたか。だれの声が一番わかりやすかったですか。それはなぜですか。声がかからなかったとき、どう思いましたか。」(混乱した、だれだろうと思った)
- ・ 「今日のお話に出てくる男の子は、自分を呼んでいる声だれのものかわかりませんでした。それがわかったとき、その男の子はとても驚きました。」

メッセージを一緒に言いましょう

神さまが私に話しかけられるとき、

私はよく聞き、返事をします

B 聞いていますか? 準備: パズルなど、子どもが夢中になる道具

- ・ 子どもたちにおもちゃを見せて、興味を引きます。
- ・ 遊び始めてから2、3分したころ、部屋の反対側に立って、小さな声で呼びかけてください。少しずつ声を大きくしながら、呼び続けましょう。

イエスさまといっしょ①

◎ 話し合しましょう

- ・ 「先生が最初に呼んだとき聞いていましたか。それはなぜですか。先生が何回呼んだかわかりますか。なかなか来られなかった人がいるのはなぜですか。」(遊びに夢中になって、来たくなかったから)
- ・ 「ときどき、神さまが私たちに話しかけておられるのに、私たちは聞こうとしていないので聞こえないことがあります。」
- ・ 「今日のお話では、神さまは小さな男の子に話しかけています。けれどもその男の子には神さまの声がわかりませんでした。今日は、神さまが私たちにどのようにして話しかけるかをお勉強します。」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまが私に話しかけられるとき、

私はよく聞き、返事をします

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りかその他の手に入るお話を読みます。
- ・ 神さまがお話の中の人々に話しかけられた方法に注目させてください。

◎ 献金

- ・ 「今日の献金は、世界の人々が神さまの声を聞けるようになるために使われます。」

◎ お祈り

- ・ 「神さまはいろいろな方法で私たちに話しかけられます。その一つが、沈黙を通してです。今日のお祈りでは、先生がお祈りの課題を言うので、みんなは静かに心の中でお祈りしてください。」
- ・ 祈りの課題を挙げてもらいます。
- ・ 最後に、お祈りには黙祷やみんなでするお祈りがあるということをお話してください。

第5課 連れ去られた少年たち

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)をたずねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。
「お話しの前に」を始めましょう。

A いないのはだれ？

◎ 活動

- ・ 子供たちは部屋の中に散らばります。
- ・ 「目を閉じてください。閉じている間に、先生がだれかにタッチします。タッチされた人は静かに部屋から出て行ってください。目を開けてと言ったら目を開けて、だれがいなくなったか教えてください。」と言います。
- ・ これを何度か繰り返します。子どもたちにはその度に位置を移動して、同じ場所にいないようにしてもらいましょう。
- ・ 毎回違う子どもにタッチしてください。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「だれがいなくなったか、すぐにわかりましたか？それはなぜですか？」
- ・ 「もしお友だちがいなくなりなくなったらどう思いますか。」
- ・ 「今日のお話には、捕まえられて外国に連れていかれた男の子たちが出てきます。そこでは正しいことをするのが難しくなったこともありましたが、彼らはお互いに助け合いました。」

メッセージを一緒に言いましょ

正しいことができるように友だちを励まし、助けるとき、

私たちは神さまにお仕えしているのです。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。

イエスキリスト①

- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

・

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りかその他の手に入るお話を 읽습니다。
- ・ お話の中の人々が、周りにどのように影響されたかに注目させてください。

◎ 献金

準備: 子どもたちが知っている場所と外国の写真を貼った箱

- ・ 写真を見て、それがどこのものかを当てます。
- ・ 「神さまは、私たちがどこにいても神さまにお仕えすることを望んでおられます。私たちの献金は、ここと、遠い場所の、両方での神さまの働きのために使われます。」

◎ お祈り

準備: 人型の切り抜き、ペン、のり、大きな厚紙

- ・ 一人ひとりに切り抜きを渡します。
- ・ 「私たちは、自分のすることや言うことで、お友だちに影響を与えています。お友だちが良いことができるように助けてあげましょう。その人の名前を人形に書いて、ポスターに貼りましょう。」
- ・ 人形に書かれた名前を見ながら、神さまに、お友だちが良い判断ができるよう助けてあげられるようにしてくださいとお祈りします。

第6課 食べ物を選ぶ

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。「お話の前に」を始めます。AとBどちらかを選んでください。

A 良い食べ物はどれ？

準備: テーブル、ディスプレイしてある食べ物のリスト、鉛筆、

様々な種類の健康的な食べ物と不健康な食べ物(実物でも、写真でも)

例: カフェインフリーの缶入りソフトドリンク、カフェインの入った缶入りソフトドリンク、ケーキ、コーヒー、野菜、水、豆

◎ 活動

- ・ あらかじめ、子どもたち一人ひとりにディスプレイしてある食べ物のリストを配っておきます。
- ・ 並べてある食べ物の栄養成分について説明できるようにしておきましょう。
- ・ 子どもたちに食べ物を見せて、リストの中で健康的だと思う食べ物には○、不健康だと思うものには×をつけさせます。

◎ 話し合しましょう

- ・ クラスのみんなと一緒にリストを見ていきます。
- ・ なぜ健康的な食べ物とそうでないものがあるのかを聞きましょう。
- ・ 「食べ物について考えることが大切なのは、なぜでしょう。ここにある食べ物のうち、良い物はどれでしょう。悪い物はどれでしょう。」
- ・ 「私たちの身体は車のエンジンのようなものです。もし悪い燃料を入れたら、ちゃんと働くことができません。神さまは私たちに、健康で幸せに過ごしてほしいと思っておられます。良い食べ物を食べるというのは、この意味でとても大切です。」
- ・ 「今日のお話には、何を食べるかを選ばなければならなかった4人の男の子が出てきます。」

メッセージを一緒に言いましょ

私が健康でいることによって、
神様によくお仕えすることが出来ます。

B リレー

準備：リュックサックかトートバッグ、石か本、「体に良くない食べ物」と書いた紙

◎ 活動

- ・リュックサックかトートバッグに、石か重い本を入れ、表側に「体に良くない食べ物」と書いた紙をピンで留めます。
- ・子どもたちを2つのチームに分けます。「今からリレーをしましょう。みんな一人ずつ部屋の向こうまで歩いて行って、壁にタッチして戻ってきます。
- ・次の人は、前の人に戻ってきてからスタートします。
- ・リュックを持っているチームは、そのリュックを次の人に渡してください。」
- ・終わったら、リュックサックを持つチームを交代してもう1度リレーをします。

◎ 話し合しましょう

- ・「リュックを持っていると、歩くときにどんな違いがありましたか」(重かった。ペースが落ちた。など)。
- ・リュックなしではどうでしたか(楽だった)。
- ・「リュックを背負いながら走ったり遊んだりするのは楽なことだと思いますか。私たちが不健康な食べ物や飲み物を選んでばかりいると、体重がどんどん増えていきます。頭の働きも鈍くなり、疲れやすく、イライラしがちになります。」
- ・今日の聖書のお話には、食べ物を選ばなければならなかった4人のお友だちが出てきます。

メッセージを一緒に言いましょ

私が健康でいることによって、
神様によくお仕えすることが出来ます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・生徒たちは、先週の学びを生活の中で体験したことを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どもの伝道地便りを読みます。
- ・人には選択をしなければならないときがある、ということについて話し合いましょ。

イエスキリスト①

- ・ 「お話の中で、良い選択ができた人はだれですか。良い選択をすることで、私たちは神さまに仕えることができます。」

◎ 献金 準備:第5課で使った献金箱

- ・ 「献金をすることで、私たちは、人々がイエスキリストを信じるという、良い方を選ぶために働く宣教師お手伝いをするのです。」

◎ お祈り

- ・ お祈りの課題や感謝したいことを挙げてもらいます。
- ・ 子どもたちに、神さまが私たちにしてほしいと望んでおられる良いことを挙げてもらいます(健康的な食べ物を食べる、聖書ガイドを勉強する、教会に行く、など)。神さまに、これからも良い選択ができるように助けてくださいとお願いしましょう。

第7課 思い出せないゆめ

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 暗号

準備:暗号を書いた紙

◎ 活動

- ・ あらかじめ、次の暗号を書いた紙を人数分用意しておきます。
- ・ 「がからみきさぼまばはただずにいえるぬにせちもえはをわあふたろえへまいしわた」
- ・ 子どもたちを2つのチームに分けます。「ここに暗号のメッセージがあります。先生には何と書いてあるのかわかりません。みんなにはわかるかな。」
- ・ 子どもたちに数分考える時間をあげてからヒントを出します。「最初の文字を消して、そこから1文字おきに文字を消していけば、メッセージがわかります。」
- ・ メッセージは「神さまはダニエルに知恵を与えました」です。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「暗号がわからなかったとき、どんな気持ちになりましたか」(イライラした。がんばった)。
- ・ 「暗号がわかったらどうでしたか」(簡単に読めるようになった)。
- ・ 「暗号が解けなかったら殺される、と言われたらどうでしょうか。」
- ・ 「今日のお話に出てくる王さまは、賢い人たちがだれも王さまの夢の意味を教えることができなかつたので、全員を殺してしまおうとしました。」
- ・ 「けれどもダニエルにはその人たちを救う方法がわかっていました。神さまは私たちにも周りの人を助けてほしいと思っておられます。」

メッセージを一緒に言いましょ

困っている人を助けるとき、

私は神様にお仕えしているのです。

B 何を考えているのでしょうか

◎ 活動

- ・ 「先生が昨日どんな夢を見たのか教えてください。」子どもたちに推測させてください。
- ・ 「それでは、今日の安息日学校で先生がしようとしていることを教えてください。」子どもたちに推測させます。
- ・ 「何をしようとしているのか、わかりますよね。それを言ってくれなければ、今日はこうやって座ったまま何もしませんよ。」子どもたちの反応を待ちます。
- ・ 「そうですね、当てっこゲームをすることはできても、先生が何を考えているのかを知るのは無理ですよ。先生も、みんなが何を考えているのかを当てっこゲームをすることはできますが、それを知るのはとても無理です。」

◎ 話し合しましょう

- ・ 「先生が考えていることがわかるはずだと言われたとき、どう思いましたか。他の人が考えていることを知ることはできますか」(いいえ。推測することはできても正確に知ることは無理)。
- ・ 「今日のお話の王さまは、自分が見た夢の内容や意味をだれも言うことができなかつたので非常に怒りました。ダニエルは、神さまに助けていただいたので、その王さまを助けることができました。」

メッセージを一緒に言いましょ

困っている人を助けるとき、

私は神様にお仕えしているのです。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。お話をしながら、周りの人を助けることによって神さまにお仕えすることができるということを強調しましょう。

◎ 献金

準備: 第5課で使った献金箱

- ・ 「困っている人を助ける方法はたくさんあります。献金を捧げることもその一つです。」

◎ お祈り

- ・ 子どもたちは輪をつくり、祈りの課題を挙げてもらいます。
- ・ 今日は困っている人について特にお祈りしましょう。
- ・ お祈りの歌を歌い、子どもたちは困っている人についてそれぞれ黙祷します。最後に、困っている人に仕える方法を教えてください、と短くお祈りして終わります。

第8課 野原でくらしした王さま

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A その場所で

準備:洗濯バサミ12本

◎ 活動

- ・ 床に印をつけ、その周りに洗濯バサミを12本置きます。何本かは、床の印から手が届かないところに置いてください。
- ・ 希望者を床の印のところに立たせます。
- ・ 「ここに立って、洗濯バサミをできるだけたくさん拾ってください。ひざをついても良いですが、足がこの印から離れないようにしてください。」
- ・ 希望者全員にやらせてあげましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「なぜ洗濯バサミを全部拾うことができなかったのですか」(手が届かなかったから)。
- ・ 「手が届かなかったとき、どんな気持ちになりましたか」(イライラした。困った)。
- ・ 「どうしたら全部拾うことができたでしょう」(足を動かしたら)。
- ・ 「私たちは、神さまにお仕えするには一つの方法しかないと思ってしまうことがあります。または、自分の今いる場所ではない所でお仕えしようと思うこともあります。」
- ・ 「今日のお話では、ダニエルは神さまとネブカドネツアル王の両方に仕えなければなりませんでした。それはとても大変なことでした！ けれども神さまがいつも一緒にいてくださいました。」
- ・ 「神さまは、私たちにもいろいろな方法で神さまに仕えてほしいと思っておられます。」

メッセージを一緒に言いましょ

私はどこにいても、神様にお仕えすることが出来ます。

B 奪われた権利

準備: 紙、えんぴつ、ふたを取り外せる小さな箱

◎ 活動

- ・ 箱の中に、簡単な指示を書いた紙を重ねて入れておきます(下の例に提案してあるものを使うか、自分で考えてください)。

例: 好きな聖句を言ってください。イエスキリストの弟子の名前を3つ言ってください。ダニエルの3人のお友だちの名前を言ってください。好きな賛美歌の1番を歌ってください。ダニエルとお友だちは、どんな食べ物を食べたいと言いましたか。etc

- ・ 子どもたちと一緒に輪になって座ります。あなたの右側に座っている子どもに箱を渡します。
- ・ その子はふたを開けて紙を一枚取り出し、その紙に書いてあることをします。
- ・ もしそれができたら、箱を右側の子どもに回します。もしできなければ、その紙と箱を右側の子どもに回します。
- ・ 紙と箱を渡された子は箱を開ける権利を失い、紙に書かれたことにチャレンジしなければなりません。
- ・ これを箱が輪を一周するまで続けます。

◎ 話し合いましょう

- ・ 生徒たちの答えを聞きながら質問します。「箱が開けられなかったときどう思いましたか。自分に紙を回してきた人のことをどう思いましたか。」
- ・ 「他の人の課題をするのはどんな感じでしたか。難しかったですか。簡単でしたか。」
- ・ 「難しい場所で神さまに仕えるように言われたり、難しいことをするように言われることがあります。ダニエルはとても難しく怖いことをしなければなりませんでした。けれども神さまと一緒にいてくださいました。」
- ・ 「神さまは、私たちが難しいことをして神さまに仕えようとしているときも一緒にいてくださいます。神さまは、私たちが神さまのために何かしようとするとき、いつも助けてくださいます。」

メッセージを一緒に言いましょ

私はどこにいても、神様にお仕えすることが出来ます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょ。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。神さまは私たちを様々な場所で仕えるよう召しておられることを強調してください。
- ・ 宣教師となって遠い所に行く人もいれば、地元で神さまに仕える人もいます。私たちはどこにいても神さまにお仕えすることができるのです。

◎ 献金 準備: 第5課で使った献金箱

- ・ 「神さまについて知らない人たちが、まだ世界中にいます。献金をするとき、私たちは神さまに仕え、世界中で行われている神さまの業をお手伝いしていることになるのです。」

◎ お祈り 準備: 紙、えんぴつ

- ・ 一人ひとりに紙を渡します。「紙を半分に折ってください。半分には、神さまを賛美したいことを文字や絵でかいてください。」
- ・ 「もう半分には祈りの課題をかきましょう。パートナーを探して、紙を交換します。」
- ・ 「そのパートナーの紙に書いてあることについてお祈りしましょう。お互いに祈りあうことも、神さまにお仕えしていることとなります。」

第9課 かべに書かれた文字

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A わからない言葉

準備: 外国語の単語か、順番をバラバラにした文章

◎ 活動

- ・ あらかじめ、外国語の単語を、ヒントつきで壁に貼っておきます。
- ・ 「壁に書かれているメッセージがわかりますか。ヒントを見て当ててください。」と言います。
- ・ または、単語の順番、または単語そのものをバラバラにして壁に貼っておきます。
- ・ 元のメッセージは「あなたははかりにかけられたが、足りないとみなされた」です。
- ・ 「壁に書かれているメッセージがわかりますか。」と聞きましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「メッセージがなんだかわかりましたか。これはどういう意味でしょう。」
- ・ 「何と書かれているかを考えるのは難しかったですか。」
- ・ 「書いてあることがわからなかったとき、どう思いましたか。もし誰かに、自分のことが書かれていると言われたらどう思いますか。」
- ・ 「今日のお話には、このメッセージを言われた王さまが出てきます。ダニエルはこの言葉を王さまに伝え、それが何を意味するのかを説明しなければなりませんでした。」
- ・ 「神さまは私たちにも、神さまのメッセージを他の人に伝えてほしいと思っておられます。」

メッセージを一緒に言いましょ

聖書の言葉をみんなに伝えるとき、

私は神様にお仕えしているのです。

B 消えるインク

準備： レモン汁、水、綿棒、ランプろうそくと燭台、紙

◎ 活動

- ・ あらかじめ、レモン汁に水を数滴混ぜておきます。
- ・ 子どもたちにペアを組ませ、それぞれのペアに綿棒と紙を渡します。
- ・ 「先生は特別なインクを持っています。綿棒にインクをつけて、パートナーあてに秘密のメッセージを書いてください。」
- ・ 「書き終わったら、その紙を交換してろうそくのところに持ってきてください。紙をろうそくの上にかざすと、メッセージが出てきます。」
- ・ 全員ができるように時間を取ります。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「メッセージを書いたとき、その書いたものはどうなりましたか」(消えた)。
- ・ 「ランプのところにかざしたら、それはどうなりましたか」(また出てきた)。
- ・ 「今日のお話では、誰にも理解できないメッセージが突然壁に現れます。王さまはダニエルを呼んで、その意味を尋ねました。ダニエルは神さまからのメッセージを王さまに読んで聞かせました。」
- ・ 「神さまは私たちにも、神さまからのメッセージを他の人たちに読んで聞かせてほしいと思っておられます。」

メッセージを一緒に言いましょ

聖書の言葉をみんなに伝えるとき、

私は神様にお仕えしているのです。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。
- ・ 神さまに仕えるということは、神さまについての良い知らせをみんなに伝えることだと強調してください。
- ・

イエスキリスト①

◎ 献金 準備: 第5課で使った献金箱

- ・ 「イエスキリストは、また来て私たちを天国に連れて行ってくださる前に、救いの福音が全世界に広められなければならないとおっしゃいました。福音を広めるために私たちにできるお手伝いの一つは、献金です。」

◎ お祈り 準備: 大きな紙を2、3枚、マーカー

- ・ 大きな紙を壁に貼ります。
- ・ 「今日は、壁に書かれたお祈りについていっしょに祈ります。私たちも壁にお祈りの課題を書きましょう。」
- ・ 子どもたちと話し合いながら祈りの課題のリストをつくります。その課題についてお祈りするのを忘れないでください。

第10課 約束された赤ちゃん

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 赤ちゃんが生まれた時

準備: 両親

◎ 活動

- ・ 子どものいる人を2、3人招き、赤ちゃんが生まれるとわかったときにどんな気持ちになったか、そして赤ちゃんが来たときのためにどんな準備をしたかを話してもらいます。写真なども持ってきてもらいましょう。
- ・ 「今日は、〇〇さんが、家族に起こったすばらしい出来事についてお話していただきます。」と言って紹介します。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「自分が赤ちゃんだったときの写真を見たことがありますか。あなたが生まれたときにだれがお祝いに来てくれたか、お父さんやお母さんから聞いたことはありますか。」と子どもたちの話を聞きます。
- ・ 「今日のお話には、赤ちゃんが生まれることを知ってとても驚き、そして喜んだ2つの家族が出てきます。その赤ちゃんたちは神さまからの贈り物でした。今日のメッセージも、神さまから私たちへの贈り物についてです。一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

神様の愛の贈り物は、
私たちに希望と喜びをいっぱい与えてくれます。

B ジェスチャーゲーム

◎ 活動

- ・ 「ひどい風邪をひいて、声が出なくなったことのある人はいますか。今からゲームをするので、最初にやりたい人は手をあげてください。」と言います。
- ・ 「声が出なくなったつもりになってください。クラスみんなに伝えてほしい言葉を見せるので、それをジェスチャーで表してください。それは物の名前だったり動作だったりします。その言葉を当てた人が次にジェスチャーをします。」と、赤ちゃんに関連した言葉を選んでおきます。例) ベビーカー、揺りかご、ハイハイ、ガラガラ、など

イエスさまといっしょ①

◎ 話し合しましょう

- ・ 「出てきた言葉に共通するものはなんですか(赤ちゃん)。話さずに相手に何かを伝えることについてどう思いますか。簡単でしたか(簡単なものもあった)。」
- ・ 「もし話せなかったら、他にどんな方法でコミュニケーションを取りますか(絵や文をかく)。今日は、不思議なことが起こって声を失った男の人が、神さまからの贈り物の赤ちゃんが生まれてまた話せるようになったというお話をします。」
- ・ 「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

神様の愛の贈り物は、

私たちに希望と喜びをいっぱい与えてくれます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。
- ・ 神さまの恵みは、その状況にかかわらず、世界中どこでも、だれにでも与えられるということを強調してください。

◎ 献金

準備: プレゼントの箱

- ・ 「神さまは私たちにたくさんの贈り物をくださいました。献金をして、周りの人が神さまについて知ることができるようにすることで、私たちは神さまの恵みの贈り物への感謝を表すことができます。」(プレゼントの箱はまだ使います)

◎ お祈り

準備: プレゼントの形の紙、ラッピングペーパー、えんぴつ、のり

- ・ 一人ひとりにプレゼントの形に切り抜いた紙を渡し、そこに神さまを感謝し讃えたいことを書いてもらいます。
- ・ そのプレゼントの紙をラッピングペーパーに貼ります。今月中はその紙をずっと壁に貼っておきます。
- ・ お祈りの中で、神さまからの贈り物と、一番素晴らしい贈り物、神さまの子どものイエスさまに感謝しましょう。

第11課 最高のおくり物

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 誰でしょう

準備: 生徒たちが赤ちゃんのころの写真、写真、えんぴつ

◎ 活動

- ・ 子どもたちの赤ちゃん時代の写真をあらかじめ集めておきます。番号をふって、テーブルの上に置くか壁に貼ります。
- ・ 「写真を見てください。だれの写真か考えて、紙に番号と名前を書きましょう。」子どもたちが答えを書いたら、正解を教えます。

◎ 話し合いましょう

- ・ 「全部当たった人はいますか。一番難しかったのはどの写真ですか。一番簡単だったのはどれでしょう。」
- ・ 「赤ちゃんは神さまにとって特別な存在です。今のみんなも、神さまにとって特別な存在ですよ。本当に特別な存在なので、神さまは本当に特別な愛の贈り物をこの地上に送って下さいました。大切な子どものイエスさまです。今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは、神さまが私にくださった特別な贈り物です。

B 神さまの贈り物

準備: ラッピングの材料、プレゼントのタグ、食べ物 自然界のアイテム、
家族の絵、聖書、赤ちゃんの人形

◎ 活動

- ・ あらかじめ、「準備」の欄にある物をラッピングしておきます。状況に応じて、より適当なものがあればそれを使ってください。
- ・ 一つひとつのプレゼントの外側に、プレゼント用のタグをつけます。そのタグには「恵み」とかいておきます。
- ・ 最後のプレゼントの中には「イエスさま」と書いた紙か、赤ちゃんの人形を入れておきます。子どもたちにプレゼントを開けさせます(赤ちゃん人形の入った包みは最後に開けます)。
- ・

イエスさまといっしょ①

◎ 話し合しましょう

- ・ 「世界中の人たちがみんな、ここにある贈り物を受け取っていますか。」(いいえ、食べ物や着るもの、家族のない人もいます)
- ・ 「みんなが受け取れる贈り物はなんでしょう。」(イエスさま)
- ・ 「神さまが世界中のみんなに、神さまにとって一番大切なものをくれたと知ったら、どんな気持ちになりますか。」(うれしい、びっくりする、ありがとうという気持ちになる)
- ・ 「暗唱聖句には、『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。』(ヨハネ3:16)とあります。」
- ・ 「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは、神さまが私にくださった特別な贈り物です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。イエスさまは、住んでいる場所にかかわらずみんなに与えられた、神さまからの特別な贈り物だということを強調してください。

◎ 献金 準備: 第10課で使ったプレゼントの箱

- ・ 「プレゼントをもらうのは楽しいですね。でも、もらったプレゼントを自分だけのためにとっておいたらどうなりますか(しばらくすると、そんなに楽しくなくなる)。神さまは私たちにたくさんのすばらしい贈り物をくださいました。献金を捧げることで、私たちは与えられた贈り物を周りのみんなと分け合い、神さまの愛について知らせることができます。」

◎ お祈り 準備: 細長い布、マーカー、飼いやおけ

- ・ 一人ひとりに細長い布を渡します。
- ・ 「聖書の時代には、生まれたばかりの赤ちゃんはこのような細長い布に包まれていました。自分の布に、神さまに感謝したいことを絵や文字でかいてください。」
- ・ 「書き終わったらそれを飼いやおけの中に入れてみましょう。」

イエスさまといっしょ①

- ・ 子どもたちを飼いやおけの周りに集め、祈りの課題を挙げてもらってお祈りします。イエスさまという素晴らしい贈り物を神さまに感謝します。

第12課 喜びの歌

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 忙しすぎる人たち

準備: 人数分のシール(または小さなプレゼント)、飼いやおけ

◎ 活動

- ・ 希望者を2人つとり、部屋の外に出てもらいます。
- ・ アシスタントが2人に、シール(または小さなプレゼント)が全員分、飼いやおけのそばにおいてあると知らせます。
- ・ 2人は他の子どもたちにそれを知らせ、飼いやおけのところに来てプレゼントをもらうよう説得しなければなりません。他の子どもたちの注意をひいて来てもらうために、どんな方法を使ってもかまいません。
- ・ 部屋の中に残った子どもたちには、2人が帰ってきたら、忙しいふりをして何があっても無視し続けるように言います。
- ・ 誰かが2人のあとについて行ってシールを手にするまでこの活動を続けます。

◎ 話し合しましょう

- ・ 子どもたちの答えを聞きながら質問します。「なぜ飼いやおけのところに行ってシールをもらわなかったのですか。とても良い物があるのに誰も欲しがらないのを見て、どんな気分でしたか。」
- ・ 「何かをくれようとしている人を無視することについて、どう思いますか。自分がもらえるはずだった物を見たときどう思いましたか。」
- ・ 「今日のお話には、忙しすぎたせいで、世界一すばらしいプレゼントについて聞くことができなかった人たちが出てきます。そのために、プレゼントを知るという幸せと喜びを逃してしまいました。けれども私たちはそれを自分のものにすることができます。今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは私に希望と喜びを与えてくださいます。

B 聞こえないとき

準備： 耳栓、ピン、紙袋、紙、鉛筆、

家の中の音を録音したもの(オプション)

◎ 活動

- ・ 一人ひとりに紙、鉛筆、耳栓を配ります。
- ・ 「みんなが耳栓をつけたら、先生は教室の後ろのほうに立って何かの音をたてます。何の音が聞こえたかを紙に書いてください。」みんなの準備ができたなら音をたてます。
- ・ 例えば、ピンを落とす音、紙袋を破裂させる音、ピアノの音などです。または、家の中の様々な音をあらかじめ録音しておいて、それを再生しても良いでしょう。
- ・ 終わったら、子どもたちに自分の聞いた音を発表してもらいます。

◎ 話しあいましょう

- ・ 「いくつかの音がわかりましたか。耳栓をつけたまま音を聞くのは簡単でしたか。無かった方が聞きやすかったと思いますか。他に、周りの人の言っていることが聞こえないときがありますか。」(お母さんが片付けなさいと言っているとき、寝る時間だと言われるとき、テレビに夢中になっていたり、テレビの音が大きすぎる時)
- ・ 「今日のお話では、人々は忙しすぎてイエスキリストのお誕生という素晴らしいニュースを聞くことができませんでした。そしてこの大切な出来事がもたらしてくれる希望と喜びを得ることができなかったのです。」
- ・ 「今日のメッセージを一緒に言いましょ。」

メッセージを一緒に言いましょ

イエスキリストは、神さまが私にくださった特別な贈り物です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょ。

イエスさまといっしょ①

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。イエスさまという神さまからの贈り物は、住んでいる場所にかかわらず、世界中のみんなに与えられたということを強調してください。

◎ 献金 準備：第10課で使ったプレゼントの箱

- ・ 「私たちはお誕生日とか特別な日にしかプレゼントをもらえませんが、神さまは私たちに一年中プレゼントをくださっているのです。神さまの気前の良さに答える方法の一つは、いただいたものを少しお返しすることです。」

◎ お祈り 準備：大きな羊の切り抜きか羊の絵、綿、のり

- ・ 子どもたちは、羊に綿を貼り付けます。
- ・ 作業中、子どもたちは祈りの課題を挙げ、神さまに感謝をささげたいことがらを話します。
- ・ 「お祈りというのは、行ったり来たりするものです。私たちは神さまにお話しますが、それと同時に、神さまの答えを聞かなければなりません。今日のお祈りでは、まず先生がみんなの祈りの課題をお祈りします。」
- ・ 「それから間を空けますので、みんなで静かに心の中でお祈りして、神さまの思いが私たちの心に入ってくるのを待ちたいと思います。」

第13課 長い旅

部屋の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。先週学んだことを生活の中でどのように体験したか話してもらいます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 旅のしたく

準備: スーツケースの形の紙を人数分、鉛筆

◎ 活動

- ・ 子どもたちにスーツケースの形の紙を渡し、今から山、海、街、田舎のうちのどこかに旅行に行くと言ってください。
- ・ 「急に旅行に行くことになりました。スーツケースの中に入れる物を描くのに、2、3分しかありません。」
- ・ 2、3分したら、みんなのスーツケースの中身を見ます。

◎ 話し合しましょう

- ・ 「みんなのスーツケースの中身は全部一緒ですか。違うのはなぜですか。」(行く場所によって、必要な物が違うから)。
- ・ 「全部のスーツケースに共通して入っているものはありますか。」(服は多分全部に入っている)
- ・ 「もし急に旅行に行くことになったら、絶対に持っていきたい物は何ですか。よそに行ったときに、一番恋しくなる物は何でしょう。」
- ・ 「今日のお話では、ヨセフとマリアはお家を急いで出なければなりませんでしたが、将来に何が待ち構えているのかわかりませんでした。神さまと一緒にいてくださることを確信していました。」
- ・ 「それが今日のメッセージです。」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまが私を愛してくださるので、私は未来が楽しみです。

B 守ってくれるもの

準備: ゴム手袋、長靴、かさ、エプロン、サングラス、箱、

日焼け止め

◎ 活動

- ・ 使う人を守ってくれるアイテムをあらかじめ用意して、箱の中に入れておきます。
- ・ 子どもたちは箱の中を見ないで手を入れ、手探りで一つ選んで取り出します。
- ・ 「これは何に使いますか」と質問し、その子に、そのアイテムの使い方を身振りで示させます。

イエスさまといっしょ①

◎ 話しあいましょう

- ・ 「ここにある物に共通することは何ですか(みんな、使う人を守るために使われる)。
- ・ 「このほかに、私たちを守るために使われる物や、必要な物を思いつきますか。」
- ・ 「赤ちゃんは、どんな物から守ってあげないといけませんか。」(火、暑さや寒さ、飢え。)
- ・ 「今日のお話では、神さまがどうやって赤ちゃんイエスさまを守ってくださったかをお勉強します。」
- ・ 「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

神さまが私を愛してくださるので、私は未来が楽しみです。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・ 部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・ 生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話し、暗唱聖句を復習します。
- ・ お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・ 子どもの伝道地便りを読みます。神さまが共におられるとき、私たちは将来に希望を持つことができるということを強調してください。

◎ 献金 準備:プレゼントの箱

- ・ 「神さまはご自分の子どもを贈り物としてくださいました。みんなが神さまと一緒に天国に住むことができるようにです。献金をすることで、私たちは他の人たちが神さまの素晴らしい贈り物について聞けるよう手助けをするのです。」

◎ お祈り

- ・ 「神さまは私たちに最高の贈り物をくださいました。ご自分の息子という贈り物です。」
- ・ 祈りの課題を挙げてもらいます。お祈りの間に、自分の最高の贈り物(自分自身)を神さまに捧げたい人は手を挙げるように言ってください。